

第1回関係機関等意見交換会 議事

沖縄県

第1回沖縄鉄軌道関係機関等意見交換会

議事要旨

- 1 日時：平成27年5月28日(木) 10:00～12:00
- 2 場所：南部合同庁舎5階第1～4会議室
- 3 出席者
(1) 委員

区分	所属	氏名	備考
交通 事業者	一般社団法人沖縄県バス協会 会長	合田 憲夫	
	沖縄都市モノレール株式会社 代表取締役社長	仲吉 良次	
	一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会 事務局長	津波古 修	代理
	一般社団法人沖縄県レンタカー協会 専務理事	伊佐 清志	代理
経済・ 観光団体	沖縄県商工会議所連合会 常任幹事	仲田 秀光	代理
	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長	上原 良幸	
生活・ 交通弱者	一般社団法人沖縄県婦人連合会 会長	平良 菊	
	NPO 法人バリアフリーネットワーク会議 理事長	親川 修	
市民団体	一般社団法人トラムで未来をつくる会 代表理事	富本 実	
	NPO 法人しまづくりネット 理事長	中村 司	
	環金武湾地球温暖化対策地域協議会 会長	清水 洋一	
行政機関	沖縄県環境部環境政策課 副参事	長嶺 祥	代理
	沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課 副参事	屋比久 義	代理
	沖縄県土木建築部道路街路課 課長	上原 国定	
	沖縄県土木建築部道路管理課 課長	古堅 孝	
	沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課 課長	宜保 勝	

(2) 事務局

沖縄県企画部交通政策課

4 主な議題

- (1) 検討プロセス及び検討体制について
- (2) ステップ2の検討内容について

5 議事要旨

- (1) 事務局より議題に沿って説明を行い、意見交換がなされた。鉄軌道の検討プロセスや、将来あるべき姿、評価項目に関する質疑応答が行われた。
- (2) 関係機関等意見交換会での主な意見は下記のとおり

A) 検討プロセス及び検討体制について

- ① フィーダー交通については、市町村も巻き込んで検討を行うべき。

B) 将来像について

- ① 車窓からも楽しめるよう、1時間にこだわる必要はないのではないか。
- ② L R T等の整備により既存の市街地の活性化も期待できる。
- ③ 引きこもりがちな高齢者の外出を促すという視点も重要だ。
- ④ 利用料金等、利用者に必要な情報提示が必要。
- ⑤ ストロー効果による影響等、メリット・デメリットを踏まえ、那覇～名護を1時間で結ぶ意義についてもっと議論すべき。

C) 評価項目について

- ① 基幹軸だけでなく、フィーダー交通もセットで評価を行う必要がある。
- ② 評価項目に、鉄軌道の影響を受ける既存の交通事業者の経営を考慮すべき。
- ③ 経済的側面での利便性、物流についても考慮してほしい。

第 1 回沖縄鉄軌道関係機関等意見交換会

日時：平成 27 年 5 月 28 日(木) 10:00～12:00

場所：南部合同庁舎 5 階第 1～4 会議室

■ 議事

1. 開会
2. 検討プロセス及び検討体制について
3. 沖縄鉄軌道関係機関等意見交換会設置要綱について
4. ステップ 2 の検討内容について
5. 質疑応答及び意見交換(鉄軌道導入に対する意見及び懸念事項等)
6. 閉会

発言者	発言
仲吉委員	<p>那覇～名護を 1 時間で結び高速交通機関が整備されると、名護から中南部に人が流れるストロー効果が懸念される。</p> <p>1 時間で結ぶことに対する影響について検討すべきではないか。鉄軌道ありきの検討となっていないか。</p> <p>⇒那覇から名護 1 時間は、21 世紀ビジョンに基づいている。ただし、鉄軌道の検討はゼロベースである。</p>
中村委員	<p>以前聞いた学者の話では、所要時間 1 時間程度の距離であれば、ストロー効果は大きな問題にはならないと聞いている。</p> <p>今年度内でステップ 5 までの検討を行うスケジュールになっているが、実施できるのか。評価は基幹軸のみでなく、基幹軸とフィーダーをあわせて行う必要があると思う。</p> <p>⇒今年度内の策定を目標としているが、一方で丁寧に進めないといけないという認識もある。</p>
中村委員	<p>フィーダー交通の検討にあたっては、市町村をもっと巻きこむべき。</p> <p>⇒中南部都市圏の交通ネットワークについては、H20 年度に策定した都市交通マスタープランをベースに考えている。</p>
合田委員	<p>将来の姿として、中期的には那覇～沖縄市間への基幹バス導入が示されているが、長期ではその部分が鉄軌道等に置き換えられ、基幹バスは別の箇所への導入が示されている。バス事業者としてその都度対応していくのは大変である。</p> <p>評価項目に、既存の交通事業者の経営についても考慮して欲しい。</p> <p>⇒鉄軌道導入により影響を受けるところについては、評価に配慮する。</p>

発言者	発言
上原委員	<p>軽便鉄道があった頃と現在とでは必要性は違うため、以前あったから今も必要というのであればちょっと気になる。</p> <p>車では名護まで1時間で行ける。ストロー効果なども含め、総合的に那覇から名護を1時間で結ぶという前提だけで無く、ルートをLRTにすることも含めて幅広い議論をやっていけるような提示をしていただければと思う。</p> <p>⇒自動車については、名護から1時間の圏域となっている。多様なモビリティを提供する観点から公共交通も必要ということで考えている。これについては、幅広い情報共有を図っていきたい。</p>
富本委員	<p>整備新幹線方式での整備方法は考えているのか。また、那覇～西原までの市町村がLRTの勉強会を開いているが、市町村が独自で整備する場合の県の対応を教えて欲しい。</p> <p>今検討している鉄軌道案の内容は具体的でない。</p> <p>⇒鉄軌道の整備については、既存の整備スキームでは採算をとるのは難しいが、整備新幹線方式では事業者の負担が少なくすむため、整備新幹線方式を視野に入れて検討していくこととしている。</p> <p>⇒一方、LRTは既存スキームで整備できると考えている。市町村が独自で整備する場合は、県も応援していきたい。</p>
富本委員	<p>LRTが整備されれば既存のバス会社が運営、すべきと考える。</p>
合田委員	<p>⇒LRTをバス事業者で運営することについては、ありがたい話と思うが、現時点でどこまでできるのかわからない。決して後ろ向きに考えているわけではないが、その時はよろしくお願ひしたい。</p>
親川委員	<p>高齢化社会になって時間だけを求めるのか、観光客に1時間トンネルの中を通ってもらうのか、車窓からの景観も重要な視点。時間にこだわっても何の楽しみもない。</p> <p>県民は公共交通の選択肢が少ないなかで、バスを利用している状況があり、バスのサービスレベルが低いという資料の表現は変えてほしい。</p> <p>時間短縮の話はよく聞くが、1時間の移動に要する費用がいくらなのか、利用者に必要な情報がない。事業費よりも料金の方が重要な情報であり、市民の視点が抜けているように思われる。</p> <p>⇒今後の県民との情報提供にあたっては、県民向けの視点に留意していきたい。</p>
平良委員	<p>鉄軌道の導入によって、バス、タクシー、モノレールと競合しないか。一方で、鉄軌道で北部に観光で行くなど、引きこもりがちな高齢者の外出を促すことも重要だ。</p>

発言者	発言
屋比久代理	<p>鉄軌道の導入も含めてゼロベース、導入しないという選択肢もあるということ捉えてよいのか。</p> <p>将来の姿で長期はどのくらい先を想定しているのか。</p> <p>また、観光においては観光収入1兆円、観光客1000万人を目標に平成33年度までのロードマップを作成している。今後さらにレンタカー需要が増加、駐車場等のニーズが高くなることを認識して欲しい。鉄軌道の整備には時間を要するので、中短期的な取組を行ってほしい。</p> <p>評価項目の中に、「観光客の移動範囲の拡大」とあるが内容をみると利便性向上と思われる。</p> <p>⇒ゼロベースにはつukらないことも含まれている。長期は15年以上を想定している。また、今後の観光客増加の視点も踏まえ、評価項目等について検討していきたい。</p>
伊佐委員	<p>資料3のP8にレンタカーの許可車両台数のデータがあるが、これは宮古、八重山も含むデータであるため、沖縄本島のみで議論すべき。レンタカー増加による駐車場の確保、渋滞が課題としてあげられているが、比較的渋滞の少ない箇所を走行させることにより、渋滞への影響も軽減できると考えており、利用者にも働きかけている。</p>
仲田委員	<p>南北を1時間圏域で結ぶという県の計画は観光施設の活性化が期待できるが、MICEとのアクセスがよく見えない。</p> <p>人の移動による地域振興を視点にするだけでなく、物流についても検討して欲しい。</p> <p>国家戦略特区を活用してみてもどうか。</p>
清水委員	<p>大学で教員をしているが、若い人で鉄軌道の検討を知らない人が多い。ニューズレターの専門家からのひとことで、「県民一人一人が公共交通を積極的に利用していくことが前提になる」とあるが、県民が乗りたくなるように仕向けていくことも重要。</p> <p>LRTを恩納村など国道58号沿線のホテルに向かうルートに導入することにより、普天間や沖縄市など既存の市街地を、ゆっくりと夕日を眺めながら通ることができ、既存の市街地も活性化して良い。</p> <p>その際、バスなど公共交通の乗換を考慮することが良い。</p>
津波古代理	<p>タクシーは特措法により6年前に2割減車した。鉄軌道導入によるタクシーへの影響も検討して欲しい。</p>